

内閣府 次世代医療基盤法シンポジウム

「医療ビッグデータが生み出す“明日の医療”」
～次世代医療基盤法が目指す世界と医療現場にとっての意義～東京
開催

日時：2020年2月29日（土）15:00～17:30

会場：AP日本橋 ROOM G（東京都中央区日本橋3-6-2日本橋フロント6階）
（東京メトロ銀座線日本橋駅から徒歩2分、JR東京駅八重洲中央口から徒歩5分）参加無料
（要事前登録）大阪
開催

日時：2020年3月14日（土）15:00～17:30

会場：ブリーゼプラザ 小ホール（大阪府大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー 7階）
（大阪メトロ四つ橋線西梅田駅から徒歩3分、阪神梅田駅から徒歩5分、
JR大阪駅桜橋口から徒歩5分、JR東西線北新地駅から徒歩5分）定員：
東京140名
大阪120名

※東京開催と大阪開催の内容は同一です。どちらかにのみご応募ください。

医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律（平成29年法律第28号）（略称「次世代医療基盤法」）は、平成29年5月に公布、平成30年5月に施行されました。

今後、この制度に基づき一人ひとりの医療情報が利活用され、より良い医療が提供されることにつながるためには、医療機関をはじめとする皆様方のご協力が重要です。そこで、内閣府では、医療機関をはじめとする皆様方に次世代医療基盤法への理解を深めていただけるよう、シンポジウムを開催することといたしました。より多くの方々のご参加をお待ちしております。

プログラム ※プログラム、出席者は変更する可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

開会挨拶 15:00-15:05

内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室

講演1 15:05-15:30

内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室

なぜ「次世代医療基盤法」か

次長 城克文（東京） 参事官 田中謙一（大阪）

講演2 15:30-16:10

ビッグデータが奏でる医療の未来

中島直樹氏（一般社団法人日本医療情報学会 代表理事）

休憩 16:10-16:25

パネルディスカッション 16:25-17:25

石川広己氏（公益社団法人日本医師会 常任理事）

山本隆一氏（一般財団法人医療情報システム開発センター 理事長）

高林克日己氏（千葉大学 名誉教授）

吉原博幸氏（一般社団法人ライフデータイニシアティブ 代表理事）

中島直樹氏（一般社団法人日本医療情報学会 代表理事）

田中謙一（内閣府 参事官）モデレーター

閉会挨拶 17:25-17:30

内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室

お申込みはウェブサイトから（事前登録制）

<https://www.e-toroku.jp/jisedaiiryo/>お問い合わせ先（シンポジウム業務請負先）
野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部
次世代医療基盤法シンポジウム事務局

携帯・スマートフォンの方はこちら



E-mail: tokumei-kako@nri.co.jp TEL: 03-5877-7307



次世代医療基盤法

内閣府 令和元年度「匿名加工医療情報の利活用に関する調査等事業」

各会場の定員を超えてお申し込みがあった場合は、ご参加をお断りする可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、ご参加いただけない方には、その旨を運営事務局からご連絡いたします。

取材をご希望の方は、別途FAX又はE-mailにてお申し込みください。取材の申し込みをされていない方の撮影・録音はご遠慮願います。